

第 1666 回例会報告

令和2年11月5日(木)晴

会長挨拶

アメリカ大統領選と大阪住民投票

会長 田中久登

アメリカでは大統領選が行われます。力強い演説が行われ、小走り気味に出てくるという元気の良さがみられるのがアメリカらしいと思います。

民主主義の代表の国として、アメリカそのものがたくさんの移民で作られた伝統的な国であると思います。奴隷制度がありそこで黒人が増え、奴隷禁止の戦いがあり、その後アヘン戦争の影響として中国人がたくさん移りすんだそうです。多民族国家であり、多宗教の国であることから、個人の自由と幸せは権利として最も強く認められていると言います。

価値観、宗教の多様さはなかなか統一できるものではない。しかし、その多様性こそがアメリカという国家を作っていると思う。

一方、先日大阪都構想が否決をされましたが、私としては残念でした。そもそも都道府県は明治維新の時に作られたものであり、あの時からしたら交通やいろいろがかわっているのでは、高齢化社会



やいろいろな社会を乗り切るためには、人口も減ることですし、100年前のシステムではいけないので、革新していくべきだとも思います。

ただ、対立することがあっても、多様な意見の議論は必ずしなければいけないし、その多様性こそが今後の我々の力強い生き方の原点になるのではと思う。

そういう点からも、アメリカ大統領選挙を注視していきたいとおもいます。

(今回の原稿は編集部取材ですので若干の表現の違いがあるのは、お許しください)

◇幹事報告◇

【連絡事項】

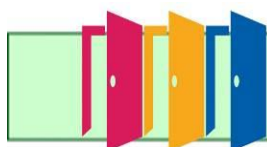
1. 11月29日に松本のキッセイ文化ホールにて職業奉仕セミナーがあります。内容を回覧いたします。興味のある方はぜひご参加ください。
2. 長期欠席者のレターボックスの中身を送付いたしました。

【受領文書】

1. 財団ニュースがとどきました。回覧いたします。
2. バギオだよりが届きました。国際奉仕委員の皆様のレターボックスに配布してあります。

次週よりロータリー財団、米山奨学会の寄付を行います。最低一人一万円を目標に寄付をお願いします

♪出席報告		♪ニコニコBOX		♪今週のことば
会員数	38人	10人	28000円	本日は信州大学院生市川さんの卓話を頂きます。よろしくおねがいします。 萩田 均 昨日自民党本部にて保護司活動に関する予算要望書を提出し、その内容について意見を述べてきました。予算委員会の最中でしたが30名以上の議員さん方が出席してくれました。何とか要望が叶うようにと願っています。 小林 聖仁
出席対象	37人	累計	242000円	
出席者数	24人	目標額	60万円	
出席率	57.8%	達成率	40.0%	
前回修正	100.0%			



第1666回例会

諏訪湖におけるリン循環機構の解明

信州大学大学院宮原研究室
市川雄貴様

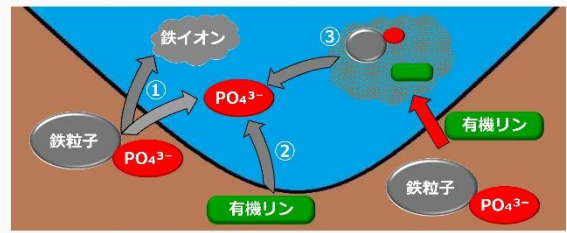
今日は信州大学の大学院生の市川君が卓話をしてくれます。市川君は下諏訪出身です。下諏訪出身の子が諏訪湖について発表してくれるのは大変うれしいことです。

今後もしろんな研究の中から地元への貢献をしてくれると期待しています。



市川君のお話は、私たちがすでに先刻ご存知と
思っていた「窒素・リン酸・カリ」のお話を大変分かり
やすく、またその研究ではどこに注目しているかを
丁寧に話していただきました。機会があったらぜひ
もう一度お話を聞きたいものです

研究の背景 -浅い湖沼におけるリン-

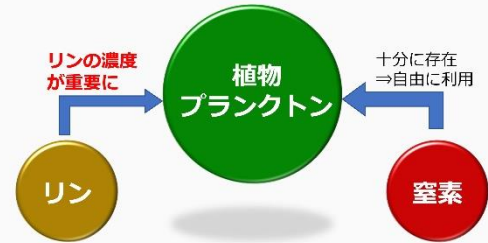


浅い湖沼における底質からのリンの内部供給機構

- リンの外部供給が減少した後の浅い湖沼では、底質など湖内部に貯蓄していたリンの放出(リンの内部供給)が盛んに発生(夏期に顕著)
- 底質からのリン供給の経路は、①貧酸素環境下でのリンの溶出や、②バクテリアによるリンの分解、③巻き上げられた底質からのリンの溶け出しなどが挙げられる

研究の背景 -リンと植物プランクトン-

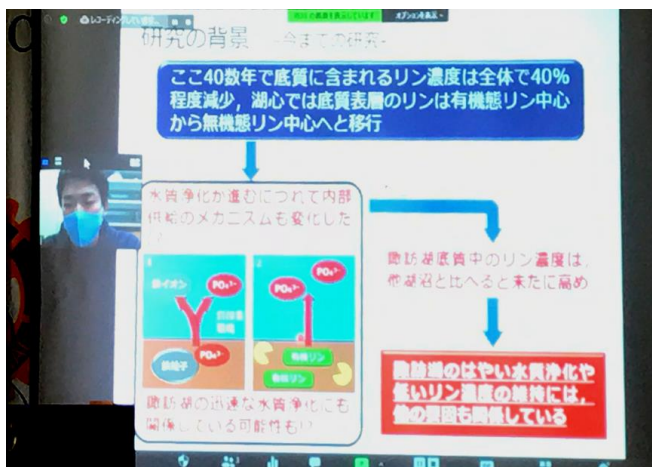
- 植物プランクトンが成長するには、主に窒素(N)とリンが重要
- 日本などの温帯域の湖では、降雨によって窒素が多量に供給されるため、植物プランクトンにとって十分な窒素が存在
⇒植物プランクトンの量はリンの濃度に影響される



卓話に先立ち、信大宮原先生より
「諏訪湖浄化の研究をクラウドファンディングを利用して行いたいと思っています。信州大学のホームページからクラウドファンディングのページへ行けますので、ぜひご協力ください。現在は目標額 100 万円中 95 万まで来てますので、是非とも応援よろしくをお願いします。」

とのお話がありました

次回クラウドファンディング募集の際はもう少しお早くお声がけをしていただき、ぜひご協力をしましょう



担当 社会奉仕委員会

